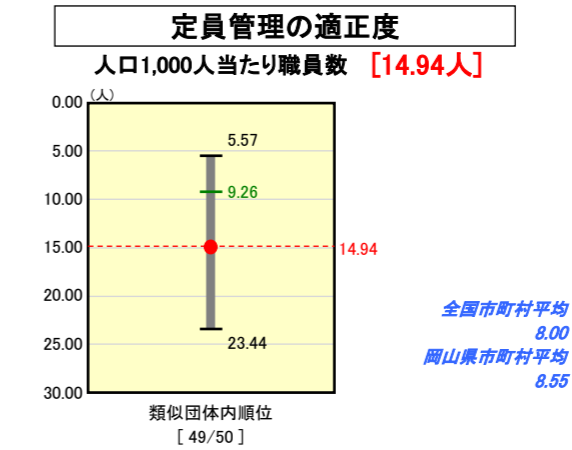
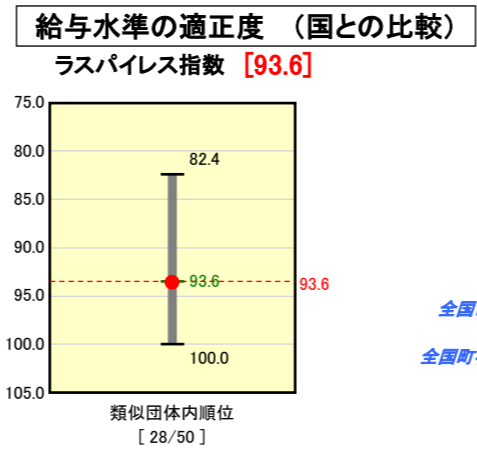
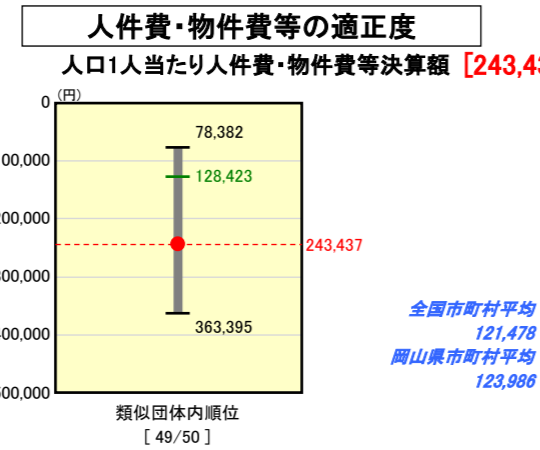
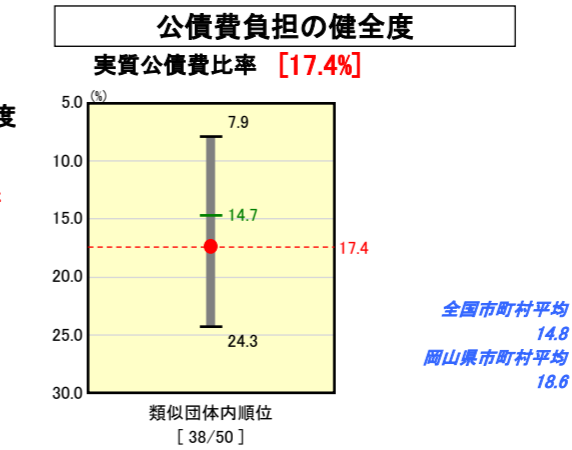
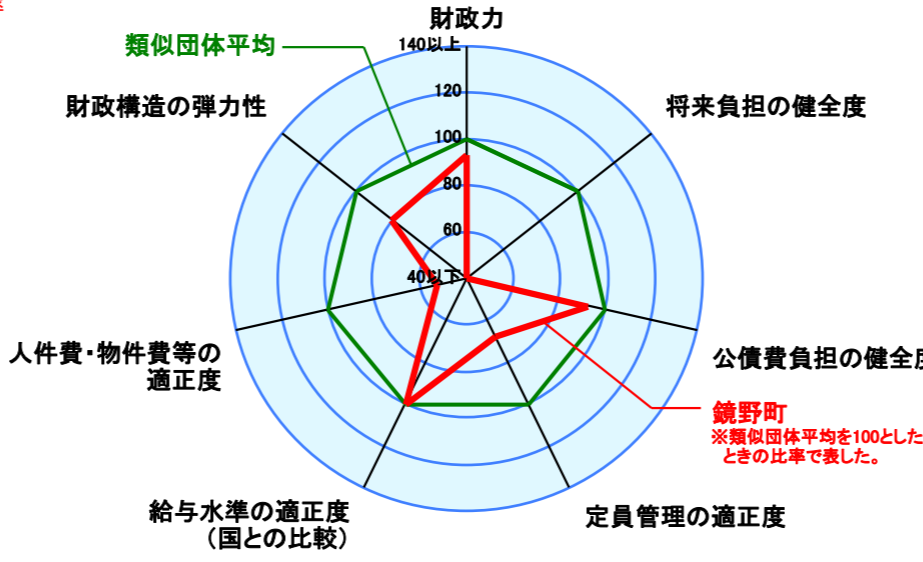
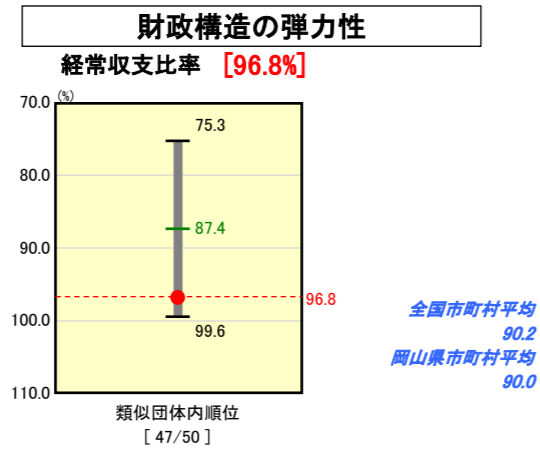
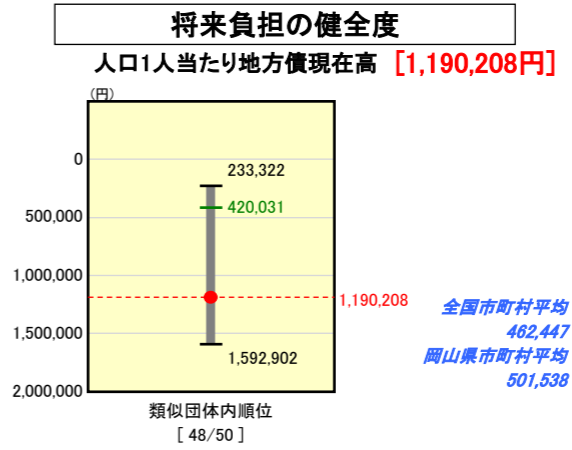
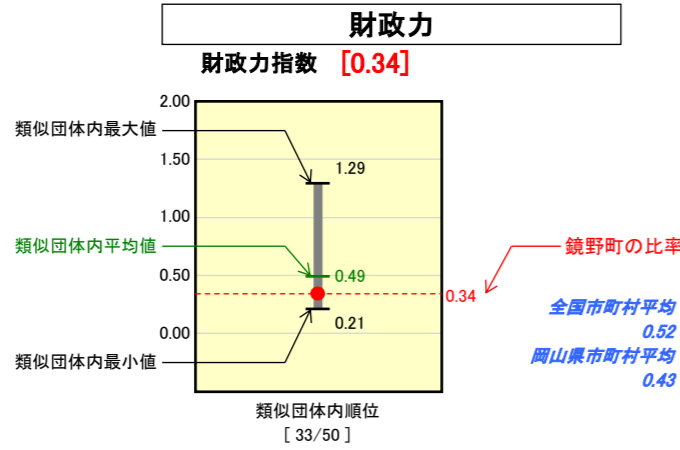


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

岡山県 鏡野町

人口	14,791 人(H18.3.31現在)
面積	419.69 km ²
歳入総額	11,713,436 千円
歳出総額	11,025,877 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

○財政力指数
人口の減少や高齢化等により財政基盤が弱いため、財政力指数は類似団体平均を若干下回っており、今後は苦田ダムに係る国有資産等所在市町村交付金等により若干の税収の伸びは期待できるものの、引き続き集中改革プランに沿った徹底的な歳出の見直しに努め、財政の健全化を図る。

○経常収支比率
公債費、人件費等の義務的経費の占める割合が非常に高く、経常収支比率は96.8%と類似団体平均を大きく上回っているが、公債費については平成19年度をピークに年々減少する見込であり、また、人件費についても職員削減(5年間で10%削減)に努めており年々改善に向かう見込である。今後は、行財政改革を強力に推し進め物件費、扶助費等の削減に努め、行政の効率化、事業の見直しを図る。

○ラスパイレズ指数
ラスパイレズ指数は、93.6%と全国平均の位置にあり、今後も人事評価システムの導入等により給与の適正化を図る。

○実質公債費比率
過去の大型事業の起債償還に伴い、実質公債費比率については17.4%と類似団体平均を上回っている。普通会計の公債費については平成19年度をピークに減少見込であるが、下水道、簡易水道施設の整備に伴う公営企業会計の公債費の増加により、普通会計からの繰入金が増加する見込である。今後は、公営企業経営健全化計画等の作成により改良計画や料金の見直しを図る。

○人口1人当たり地方債残高
過去に実施した大型事業の関係で人口1人当たりの地方債残高は類似団体平均を大きく上回っている。今後は新規発行債の抑制に努め地方債残高の減少に努める。(5年間で人口1人当たり地方債現在高を25万円削減)

○人口1,000人当たり職員数
集中改革プランに沿って5年間で10%程度の削減を図る。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
人口1人当たり人件費・物件費等決算額が類似団体平均を上回っているのは、主に人件費、維持補修費等が要因となっている。人件費については職員数の削減による低減を、また、維持補修費等については指定管理者制度による町有施